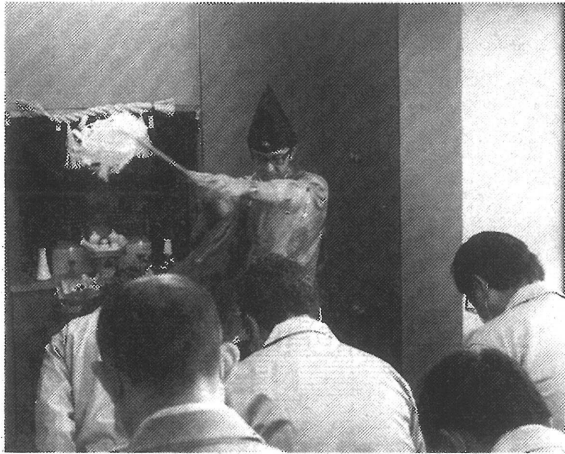


# 藤原工業



全社員が参加する「月例神事」

## 改革に挑む 三重企業

共 46 共

空調や給排水など設備工事を手掛ける藤原工業は、健康経営に力を入れている。ラジオ体操や全社員へのインフルエンザ予防接種の実施、安全大会での健康づくり講義に加え、本社に神主を招き、全社員参加による月例神事を行い、安全運転、安全作業への意識の醸成を図っている。藤原和彦社長は「健康はすべての基礎となる。社員とその家族の幸せのため、会社として応援していきたい」と思いを語る。

30年以上実施している毎朝のラジオ体操



「言葉が生まれる前から実施してきた。ラジオ体操は、30年以上。毎朝、社員が自らの健康状態をチェックする機会につなげている。」

月例神事は、50年以上前から実施している。毎月月初めに、全社員が社内の神棚の前に集まり、神主からおはらいを受ける。祈祷時間は約20分。その後、藤原

## 健康経営に注力 神事で意識醸成

同社は1946年創業。公共施設や病院・福祉施設、商業施設などの空調や換気給排水設備、上下水道工事の設計施工を展開する。社員に対する健康配慮への取り組みは、健康経営と



藤原和彦社長

社長が10分程度のスピーチを行う。現場仕事が多い同社にとって、全社員が顔を合わせられる場となり、社員同士のコミュニケーション創出にもつながっている。

藤原社長は「これからも社員の健康を考え、新しいことに取り組んでいきたい」と意気込んでいる。

このほかの特徴的な取り組みでは、1962〜78年生まれの男性に風疹クーポンが配られる前に、全社員が全額会社負担で麻疹、風疹、水痘、ムンプスの4種類の抗体検査を受けた。同社では「生まれてくる地域の子どもを守り、地元企業として次世代への責任を果たすため」と趣旨を説明する。

健康診断も充実しており、35歳以下の社員にも全額会社負担で生活習慣病健診を実施するなど、若いころから健康への意識を持つよう努めている。

工事に所属する社員は「神事は月一度、気を引き締めるいい機会になっている。もともと健康に無頓着なもので、健康診断などで会社が後押ししてくれるのはありがたい」と歓迎する。

種は、会社に医師、看護師を招き全額会社負担で全社員が受けている。

安全大会では、講師を招き、職場で簡単にできるストレッチやストレスチェック、脳トレなどの講義を実施。インフルエンザ予防接

【会社概要】本社は四日市市塩浜本町3の45。電話番号は059・345・3151。従業員数は22人。